

政治経済学 II

第7回：金銭以外で測る格差

矢内 勇生

法学部・法学研究科

2015年5月27日



神戸大学

今日の内容



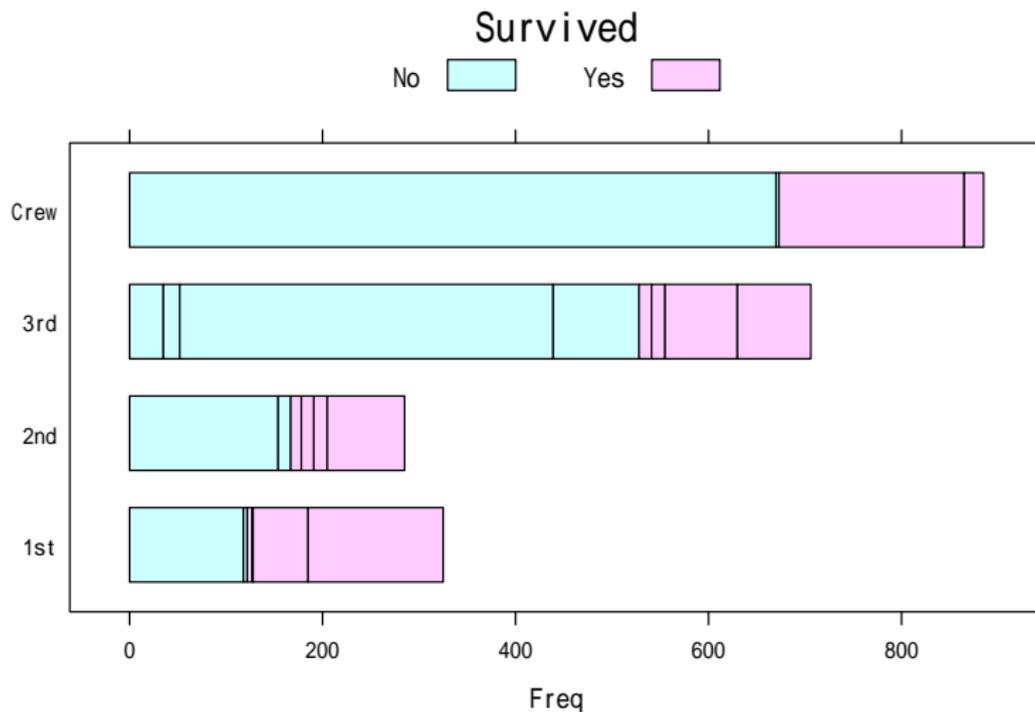
- 1 イントロダクション
 - 経済格差の帰結
- 2 格差と健康
 - 経済格差と健康
 - 教育格差、労働格差と健康
 - 国家間の格差と健康
- 3 格差に関する政治
 - 政治は経済格差にどう対応するか

経済格差とは：復習

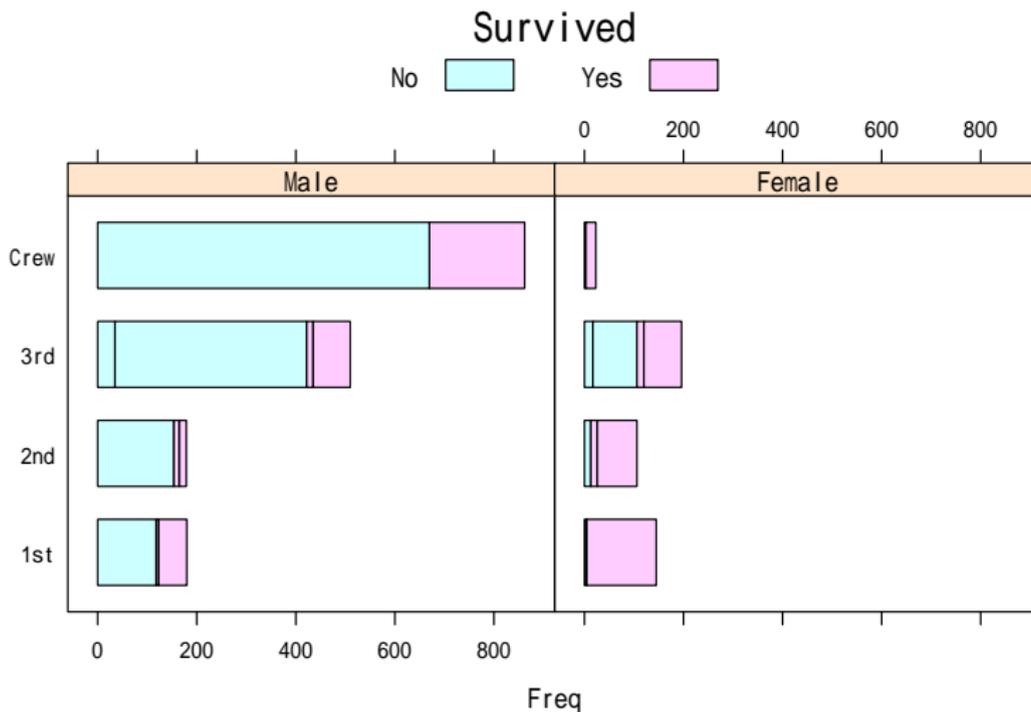


- 経済格差とは？
- 経済格差をどう評価する？
- 経済格差をどう測定するか？
- 経済格差の政治的原因は？（結果としての経済格差）
- 経済格差が社会に及ぼす影響は？ **原因としての経済格差**

タイタニック号：客室等級別生存者数



タイタニック号：客室等級別生存者数



経済格差の影響



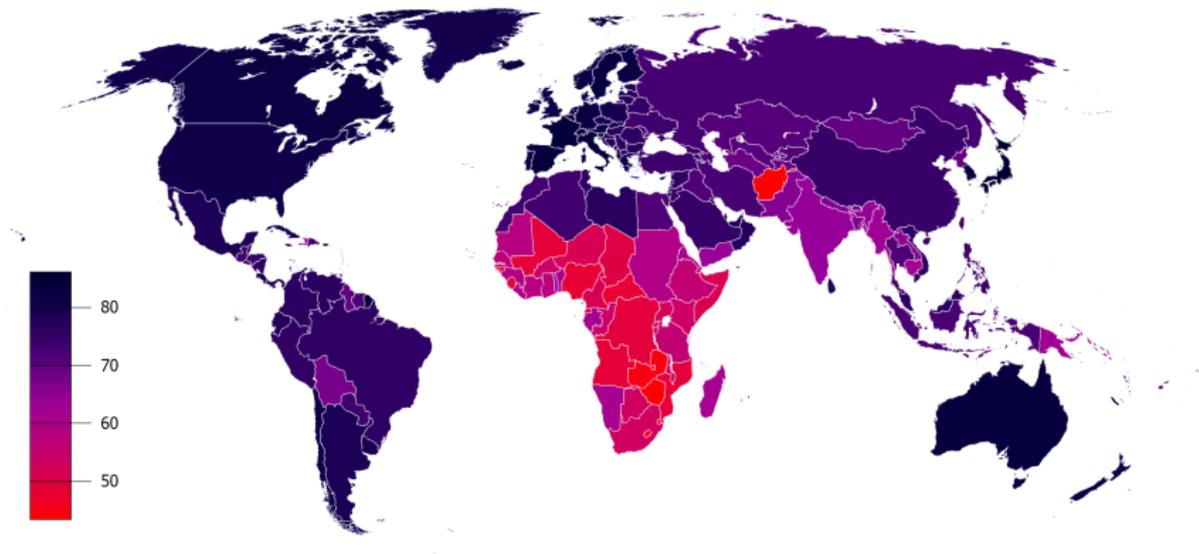
- 経済格差はそれ自体が最終的な結果か？
- 他の現象の原因になるか？
- どのような現象を引き起こすか？
- 望ましい結果か？
- 望ましくない結果だとすると
 - 循環するか
 - 負のスパイラルか
 - 政治にどのような影響を与える？

所得と健康



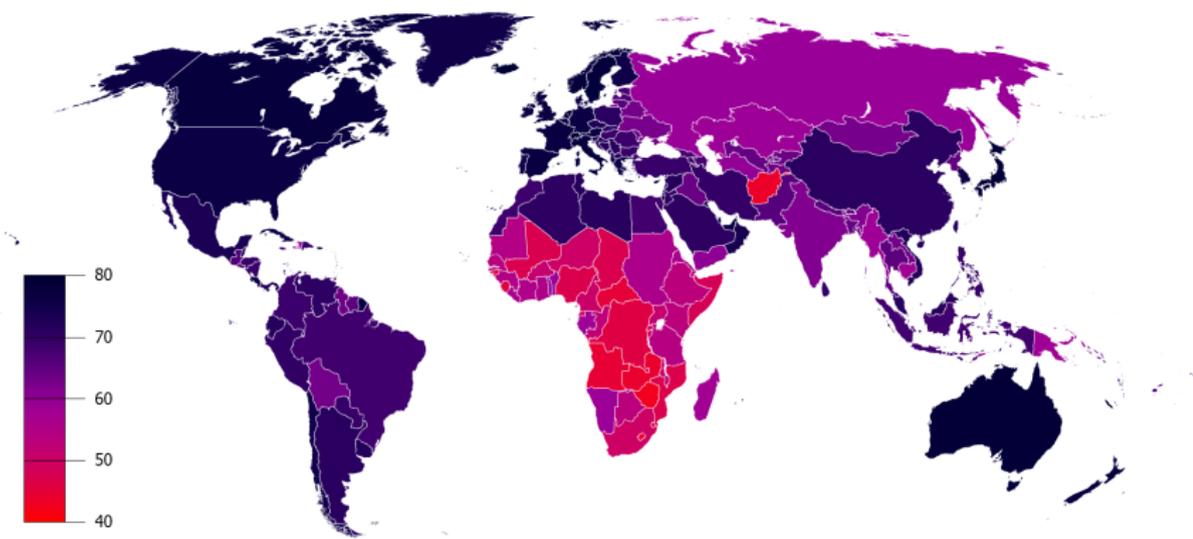
- 所得：誰にとってもある（多い）方がない（少ない）よりはいい
- 健康：誰もが、不健康よりは健康であることを望む
- 先進諸国内での所得格差は拡大している
- 健康はどうか？
- 所得の格差は健康に影響するか？

女性の平均寿命, 2009 年



出典：Wikipedia. “List of countries by life expectancy”

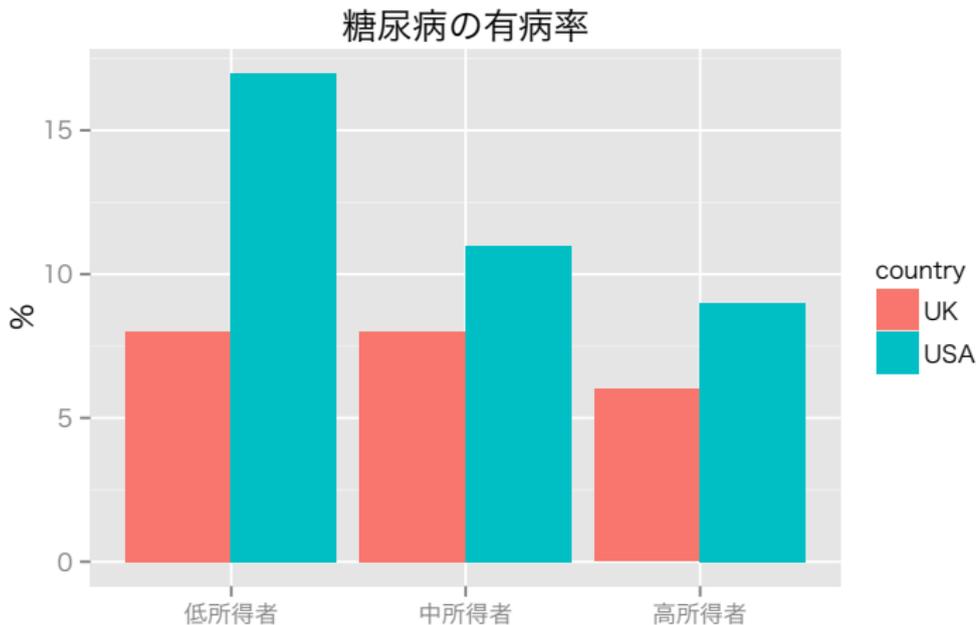
男性の平均寿命, 2009 年



出典：Wikipedia. “List of countries by life expectancy”

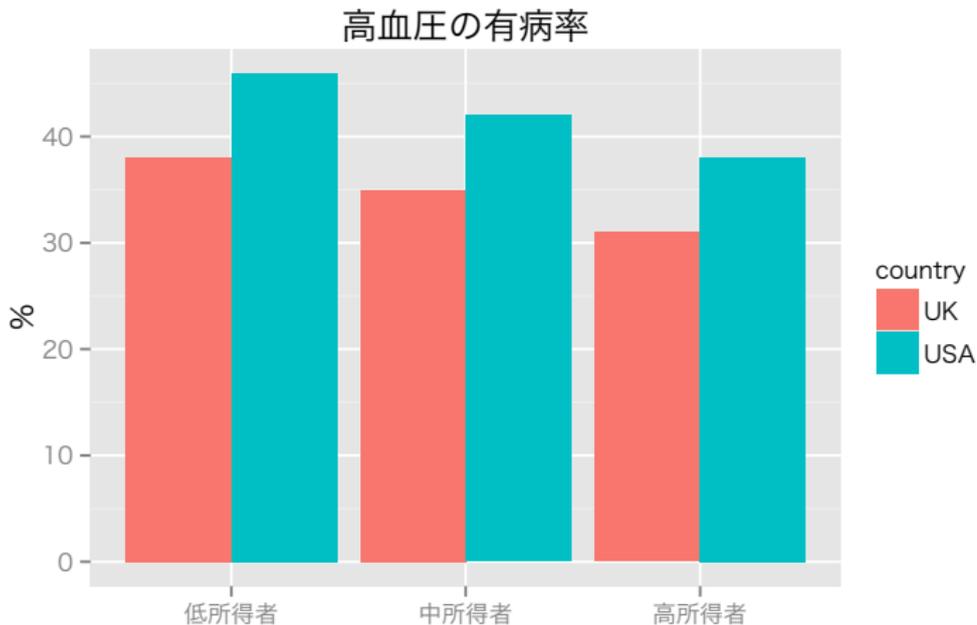


所得と糖尿病の発生率



出典：カワチ (2013: p.29), 55~64 歳の白人

所得と高血圧の発生率



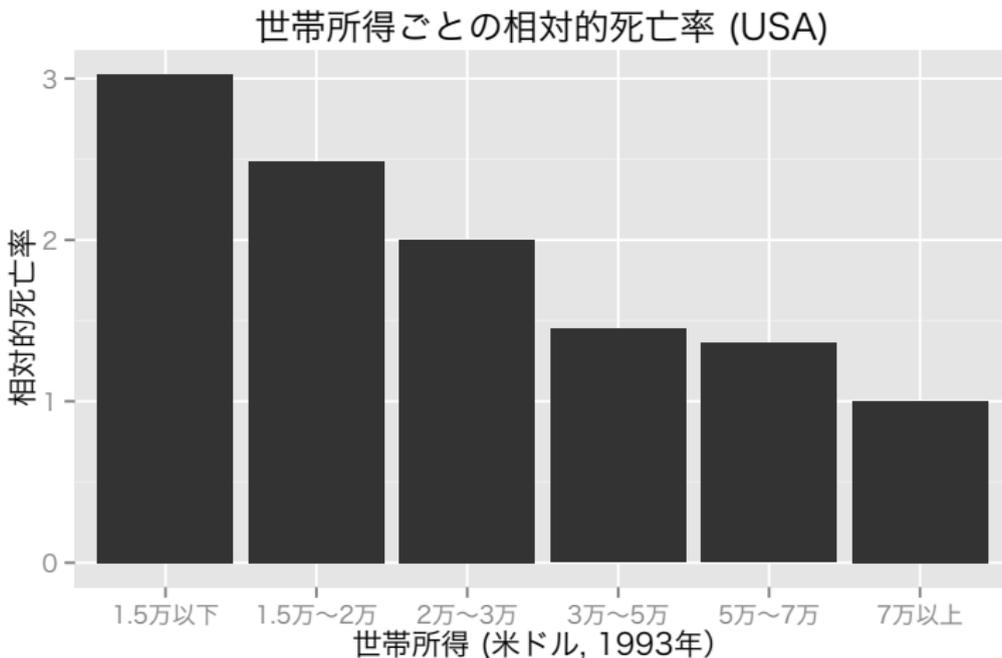
出典：カワチ (2013: p.29), 55~64 歳の白人

経済格差が寿命を縮める？



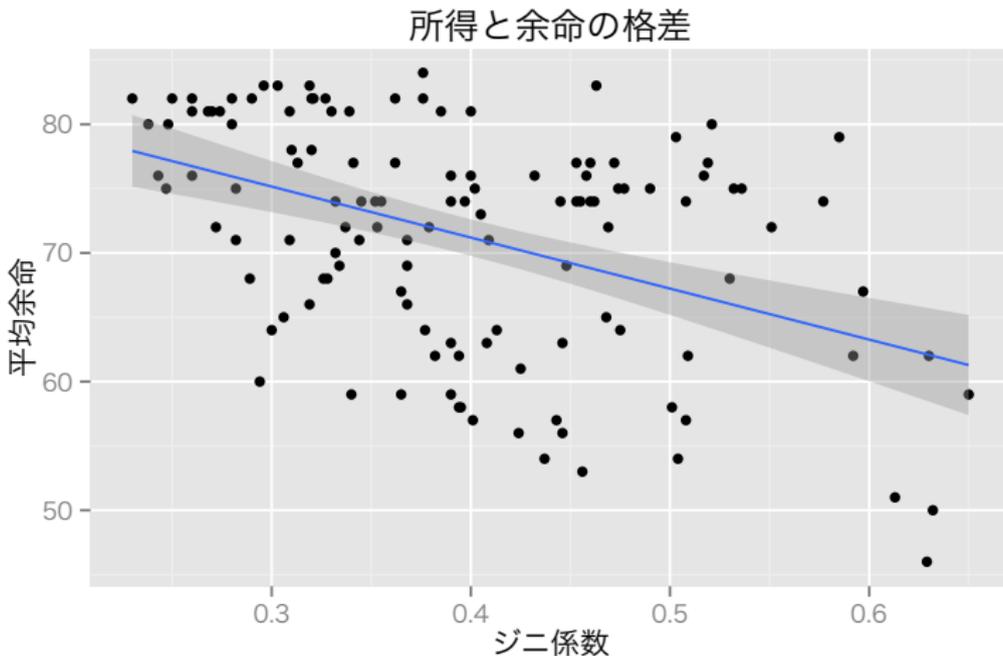
- 金持ちのほうが貧乏人より長生きする？
- 原因は？
 - 適切な栄養摂取
 - 医療へのアクセス
 - 健康を維持するための知識・環境
- 格差ではなく、貧乏が問題？
- 格差の影響は？
- **格差が重要である**
- 格差があると、金持ちでも寿命が短くなる

世帯所得と相対的死亡率



出典：カワチ (2013: p.44)

所得格差（ジニ係数）と平均余命



データ：WHO 2015（余命），CIA 2011（ジニ）

所得水準と格差：社会全体への影響



- 所得が高いほど寿命が長い
- 所得が寿命に与える影響は限界効果は逓減する
 - 寿命には（おそらく）上限がある
 - 所得1単位の変化は、低所得であるほど大きな意味をもつ
- 横軸に所得、縦軸に平均寿命をとり、関係を曲線で描く
- 平均所得が同じだが、格差のレベルが異なる2国を比べると・・・

経済格差と地域の環境



所得格差は地域の社会で経済的な環境にどのような影響を及ぼすか？

- 保険の加入者 vs. 非加入者
- 社会的インフラへの投資
- 例：Gated communities (LA の Bel Air など)
- インフラ投資が下がると、何が起きるか
- 損をするのは誰か？ 貧乏人だけか？

格差と心理



- 社会 1 自分の年収：500 万円、周りの人の年収：250 万円
社会 2 自分の年収：1000 万円、周りの人の年収：2500 万円

問 1

どちらの社会も物価は同じだとして、どちらの社会に住みたい？

問 2

どちらの社会も物価は同じだとして、どちらの社会に住むほうが幸せになれる？

自分の所得が周りと同じ水準に達していないことによるストレス

格差と社会における地位

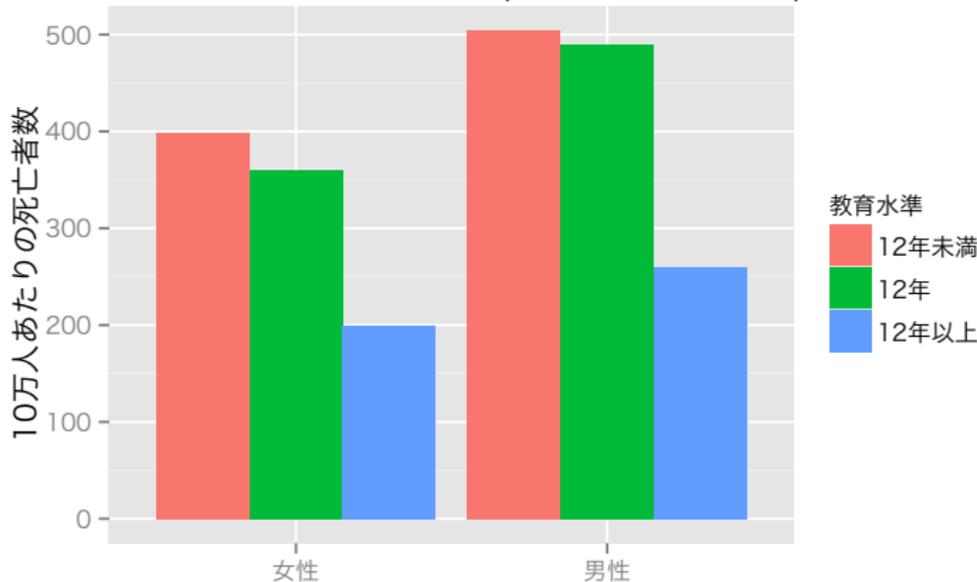


- 社会における地位が高いほど健康になる
- 自尊心が健康に影響する
- 実験 (Mendelso et al. 2008) :
 - 刺激：自尊心が高める vs 自尊心を傷つける
 - 自尊心を低くするような刺激：高血圧を引き起こす
- 地位の捉え方は？

教育水準と慢性疾患による死亡者数



慢性疾患による死亡者数 (25-64歳の米国人)



出典：

カワチ (2013: p.44)

教育が寿命を延ばす？



教育が健康を促進する（寿命を延ばす）のはなぜか？

- 行動規範や忍耐力を身につける？
- 例：教育水準と喫煙率の関係
- 逆の因果？
- 見せかけの相関？

労働格差と健康



- 不況によって打撃を受ける人たちの健康が悪化する
- 流れ作業・単純労働
- 非正規雇用
 - なぜ非正規雇用が健康に悪いのか？
 - 非正規雇用が健康に悪いとすると、社会全体にどのような影響が及ぶか？

国家間の格差



- 各国内における格差：拡大傾向
- 国家間の格差は？
- 貧しい国と先進国の差は縮まっているか？
- 経済的には？
- 経済以外の側面を考慮に入れると？

一人あたり所得でみる格差



表: 国別の一人あたり所得の格差

| 格差指標 | 1960 | 1990 | 2000 |
|--------|--------|--------|--------|
| 相対平均偏差 | 0.4751 | 0.4733 | 0.4215 |
| 変動係数 | 1.2344 | 1.2529 | 1.1662 |
| 対数標準偏差 | 1.0178 | 1.0300 | 0.9620 |
| ジニ係数 | 0.5104 | 0.5187 | 0.4873 |

出典：Becker et al. (2005: p.278)、対象国は 96 개국

平均余命でみる格差



表: 国別の平均余命の格差

| 格差指標 | 1960 | 1990 | 2000 |
|--------|--------|--------|--------|
| 相対平均偏差 | 0.1179 | 0.0507 | 0.0509 |
| 変動係数 | 0.2629 | 0.1245 | 0.1361 |
| 対数標準偏差 | 0.2552 | 0.1326 | 0.1513 |
| ジニ係数 | 0.1293 | 0.0690 | 0.0364 |

出典：Becker et al. (2005: p.278)、対象国は 96 개국

総合的な格差



- 国家間の所得格差は縮まっていない
- 国家間の健康（寿命）格差は縮まっている
- 健康（寿命）も福祉の重要な一部である
- 総合的に考えると、1960年から2000年にかけて、国家間の格差は縮まっている
- 発展途上国は先進国に追い付いてきている

経済格差にどう向き合うか？



経済格差

- それ自体が望ましくないかもしれない
- 経済格差以外の悪影響を社会に及ぼす
- 経済格差を無くしたいか？
- おそらく・・・
 - 社会全体にとっての悪なら無くしたい
 - 無くすのに費用がかかるとすると・・・
 - 格差があるほうが得な人は・・・
- 格差を縮小するかどうかは争点である：対立がある
- **政治の出番**

政治は経済格差にどう対応するか

来週のテーマ



再分配

- 政治による格差の縮小
- 誰と誰の争いか
- 国家間の違いをどうやって説明するか